

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

◆5月の発行は、16日号、23日号、30日号です。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会スポット
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4面 健康体操/ホットライン
- 5面 原発は必要か/ホットライン
- 6面 かんたんカリカリ小梅/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/原発事故15年



神奈川県・大井町 間宮真理子

今こそ、核廃絶にふみ出せ

NPT再検討会議・ニューヨーク行動

第11回核不拡散条約(NPT)再検討会議が4月27日～5月22日まで、アメリカ・ニューヨークの国連本部で開かれています。ロシアによるウクライナ侵略、アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に端を発した戦争が続く中での会議となり、核兵器廃絶へふみ出すよう各国政府に迫るため、被爆者とNGOが現地で行動しました。

アメリカ市民に核廃絶をアピール
ノーモア・ヒロシマ! ノーモア・ヒバクシャ!
ノーモア・ナガサキ! ノーモア・ウオー!



4月26日、各国NGOが日本と韓国の被爆者とともにパレード (ニューヨーク)

空の下、ニューヨーク・マンハッタンの大通りに力強いコールが響きました。4月26日、NPT再検討会議を前に、日本やアメリカ、イギリス、韓国などの平和団体から約300人がパレード(写真左)。被爆者を先頭に、新婦人もタペストリーやグッズを手に「核保有国は廃絶へふみ出せ」と市

民にアピールしました。

核保有国の横暴きわだつ

27日、NPT再検討会議初日を傍聴。アントニオ・グテレス国連事務総長は、核使用の危険の高まりに危機感をあらわにし、各国がNPTを遵守し軍縮と不拡散への努力をつよめるよう求めました。また、この日から国連ロビーで日本被爆協が原爆展を開催していること



4月29日、新婦人主催の女性交流会には、ニューヨーク州ピースアクションの5人が参加。彼女らは口々に原水爆禁止世界大会への参加と女性平和基金に支えられたことを、「かけがえのない経験」と話し、被爆者の体験や訴えを運動に生かしたいと述べた



国連総会の議場

とに言及し、これは「単なる展示ではなく、核戦争がもたらす代償を私たちに思い起こさせる警報だ」と訴えました。議長に就任したベトナムのド・フン・ビエツト国連大使も、分断を乗

り越え、NPTが核戦争による破壊から私たちを救うものになるよう力を尽くそうと呼びかけました。過去2回の再検討会議は「成果文書」を採択できずに終わり、今回もそうならば、NPTそのものの存在が危うくなる

直後の副議長の選出でイランが推薦されていることに、アメリカが「NPT条約に違反して核開発をすすめているイランに資格はない」と反発。北大西洋条約機構(NATO)加盟国からも同調する発言が続ぎ、イラン

と同盟国、多くの非核保有国との姿勢の違いが鮮明になりました。アメリカを中心とするNATO加盟国はイラン、中国、ロシア、北朝鮮などを名指しして批判する一方で、自分たちの核戦力増強政策や核共有はNPT

〈2面へ〉

NPT・ニューヨーク行動

新婦人は中央本部から由比ヶ浜直子事務局長と平野恵美子副会長・国際部長、京都・大阪・広島をはじめ各地から20人以上が参加。日本からは原水爆禁止日本協議会(日本原水協)95人、原水爆被害者団体協議会(日本被爆協)、原水爆禁止日本国民会議(原水禁)、日本生活協同組合連合会(日本生協連)の4団体など約170人。

<主な日程>

- 4月26日 国際共同行動(パレード、国際会議)
- 27日 NPT会議開会、会議傍聴
- 28日 会議傍聴、学校訪問
- 29日 4団体サイドイベント、日本代表部面会、新婦人主催女性交流会
- 30日 日本原水協代表団会議、中満泉国連軍縮問題担当上級代表、NPT議長と面会、全労連とレイバーノーツの交流会
- 5月1日 NPT再検討会議NGOセッション、エジプト・オーストラリア代表と面会、学校訪問、メーデー
- 2日 労働と社会運動史ウオーキングツアー

